opusdei.org

## 42. アリマタヤのヨセ フとはどのような人 でしたか?

アリマタヤのヨセフはイエスの受難と死に関して4つの福音書の中で登場します。彼はユダヤの町アリマタヤ(ヘブライ語でArmathajim)の出身でした。

## 2014/02/04

この町は、リッダの北東10kmにある現在のレンティスで、旧約時代の預言者サムエルが生まれた所です

(1サムエル1,1)。金持ちで(マテ オ27,57)、サンヘドリン(最高法 院)の身分の高い議員(マルコ 15,43; ルカ23,50) であったヨセフ は、エルサレムのゴルゴタの近く に、岩に掘られた新しい墓を持って いました。彼はイエスの弟子でした が、ユダヤの権力者を恐れてそのこ とを隠していました(ヨハネ 19,38)。ルカは、ヨセフが神の国を 待ち望んでいてサンヘドリンでのイ エスの非難決議には同意しなかった と書いています(ルカ23,51)。残忍 な十字架刑が執行される際、彼は恐 れずローマ総督ピラトの所に行きイ エスの遺体の引き渡しを願い出まし た(2世紀の外典『ペトロの福音 書』2,1;6,23-24によると、ヨセフは イエスが十字架につけられる前に願 い出たとあります)。ヨセフは総督 の許可を得て、イエスの体を十字架 から取り外して清潔なシーツに包 み、ニコデモの手を借りて、まだ誰 も使ったことのない自分の墓に安置

しました。そして大きな岩でその墓を閉じてその場を立ち去りました (マテオ27,57-60,マルコ15,42-46, ルカ23,50-53,ヨハネ19,38-42)。 ここまでは歴史的資料に基づきます。

4世紀以降にヨセフという人物を称 賛する空想の伝説が生まれました。 5世紀の外典『ピラト言行録』(別 名は『ニコデモの福音書』)が語る ところによるとユダヤ人はヨセフと ニコデモがイエスのために取った行 動を非難し、それによりヨセフは投 獄されました。ヨセフは奇跡的に自 由の身となりアリマタヤに現われま した。そこからエルサレムに戻りイ エスのおかげで自由の身にされたと 語っています。ヨセフについて、よ り大きく語っている伝説は、イング ランドとアクイタニナ(古代ローマ のガリア四属州の1つ)で広く読ま れた、4世紀に書かれたと思われる 『救世主の復讐(Vindicta

Salvatoris)』という文学作品です。その作品のなかで、テトスがイエスの死の復讐をするために軍隊の先頭に立って行進している姿が語られています。彼はエルサレムを征閉じ込められては悪しました。反対者に遭遇しました。反対者にではヨセフを餓死させようとしての食事を与えられて生き延びていたという話です。

11~13世紀ごろ、アリマタヤのヨセフの伝説はブリテン島やフランス入と野杯伝説やアーサー王物語にしまる形で再び詳しく彩られました。それらの伝説の一つによると、の中後によるの水と血を集めました。その水と血を集めました。もう一つの後によった(質問48.「聖杯と説のか」を参照)。もう一つのはこのでいるところによれば、コセフはのかりであるところによれば、コセフシス(いくつかの話ると表えてフランス(いくつかってはごうからははブランス(いくつかってはごりでは、アランス(いくつかっちがはアランス)にはではいる。

伝説ではマルタ、マリア、そしてラ ザロと一緒にマルセーユで船を降り たと語られています)、スペイン (そこではヤコブにより司教に叙階 されたと記されています)、ポルト ガル、そしてイギリスで布教をしま した。この最後の土地では、ヨセフ という人物は非常に人気を博しまし た。伝説では、彼はブリテン、具体 的にはグラストンベリー・トールで の最初の教会の創設者になりまし た。そこでは彼が寝ている間に彼の 杖から根が生えて花が咲いたと伝え られています。グラストンベリー修 道院は宗教改革のあおりで、1539年 に解散されるまで、重要な巡礼地に なっていました。フランスの伝説に よると、シャルル・マーニュの時 代、エルサレムの総大司教フォル トゥナトはアリマタヤのヨセフの遺 骨を持って西方に逃げ、モワヤンム ティエの修道院にたどり着き、そこ で修道院長になったということで す。

これらの伝説には歴史的根拠はあり ませんが、イエスの最初の弟子たち が重視されていたことを示していま す。これらの物語の展開は、イギリ スやフランスといった特定の地域の 人々が、ローマに対してライバル意 識を持っていたことと関係するので はないかと思われています。これら の地域では、ローマから派遣された 宣教師によってではなくイエスの弟 子たちにより布教されたことを示し たかったのであろうと言うわけで す。しかしながら、アリマタヤのヨ セフをめぐる記述は歴史的事実とは 関係ありません。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/42arimatayanoyosehutohadonoyounarendeshitaka/ (2025/12/10)